



和歌山大学附属図書館メールマガジン

第2号

平成18年1月10日

図書館からのお知らせ

平成17年12月から土曜日の開館延長および日曜日の開館を試行していますので利用してください。ただし、カウンター業務の一部を限定しておりますのでご了承ください。



開館の試行日時

土曜日 10:00～17:00

試行日 12/3、12/10、12/17、12/24、
1/14、1/28、2/4

日曜日 10:00～16:00

試行日 12/4、12/11、12/18、
1/15、1/29、2/5、2/12

カウンター業務は、以下のとおり限定しています。

- ・ 図書の貸出・返却
- ・ マルチメディア資料(DVD等)の館内閲覧の受付
- ・ 図書館利用証交付申請書の受付・交付

詳しいことは図書館ホームページ又は図書館掲示板(左上図)をご覧ください。

ホームページはこちら <http://www.lib.wakayama-u.ac.jp/>

図書館ホームページのリニューアル!! 間近です

どしどしアクセスしてください。



コーナー紹介

今回は、ブラウジングコーナーを紹介します。



ブラウジングコーナーでは、図書館で少しリラックスしたいと思われたとき、利用していただけるように、新聞や一般雑誌（趣味・教養雑誌）、本学が出版した刊行物等を備え付けてあります。

図書館に入った左側のところです。

以下新規の購入雑誌を案内します。

アサヒカメラ、キネマ旬報、山と溪谷、オレンジページ、日本カメラ、A E R A (English)、旅の手帖、モータマガジン

現在、以下に配架している雑誌について、不要と思われる雑誌があればお知らせください。

潮	音楽の友	暮らしの手帖
芸術新潮	群像	現代のエスプリ
コマーシャルフォト	諸君	新潮
世界	週刊朝日	中央公論
婦人公論	婦人の友	文学界
文芸春秋	レコード芸術	J R時刻表
Newton	Unix User	Unix Magazine

カードサイズの開館時間カレンダー



カードサイズの開館時間カレンダーを2か月ごとに作っています。

月ごとに色分けしています。

カウンターで配布していますので、勉強スケジュールを組むのに役立ててください。

開館時間のカレンダーは

http://www.lib.wakayama-u.ac.jp/frame_riyouthou.html

にもあります。

「センちゃん広場」の新設

この広場は、利用者の意見・質問・提案と図書館からの回答を載せ、利用者とのコミュニケーションを図る場として設けました。

- ・ 図書館と利用者をつなぐコーナーです。
- ・ 図書館に寄せられた質問等と、その回答を紹介して行きます。

この広場は、図書館についての皆様からのご意見・質問・提案等を募集しています。日頃、図書館で疑問に思っていることなど、気軽にお寄せください。

メールアドレスは unyo@center.wakayama-u.ac.jp です。

新着図書情報



「ファーストフードが世界を食いつくす」

エリックシュローサー著、楡井 浩一翻訳

単行本：381 p ; 19cm

出版社：草思社

価格：1,680 円

アメリカにファーストフード産業が誕生した社会的背景から、この業界の成長にともなって大きく変化した社会や食品業界を、現役記者が入念な取材をもとに描き出した衝撃の書。なかでも驚かされるのは、アメリカの精肉加工現場の衛生観念と、ずさんな労働管理の実態だ。生産されるひき肉の47パーセントがサルモネラ菌を含んでいることが判明した工場、就業中の事故による椎間板損傷を「軽いケガ」ですまそうとする会社側。「サルモネラ菌は自然の生物であって、混和物ではない」という会社の主張が連邦裁判所で認められ、工場の閉鎖が1日で解除されるという事実からは、先進国とはほど遠い業界像とアメリカ政府の認識の甘さが浮かび上がる。ファーストフードはおろか、牛肉を口にすることさえためらわれるような生々しい事実の数々。対岸の火事とは思いつながらも、お昼に食べるハンバーガーの中身を勘繰りたくなる。(望月真弓より)



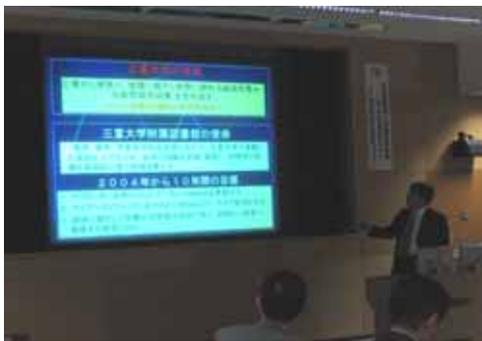
平成 17 年度和歌山地域図書館協議会報告

平成 17 年 11 月 22 日（火）和歌山大学システム情報学センター 1 階第 2 演習室で開催しました。

出席者（和歌山県立大学図書館、近畿大学生物理工学部図書館、高野山大学図書館、和歌山信愛女子短期大学図書館、和歌山工業高等専門学校図書館、和歌山県立図書館、和歌山大学附属図書館、7 館 16 名）

1. 特別講演会

亀岡孝治氏（三重大学理事・副学長・附属図書館長）及び中井えり子氏（三重大学学術情報部情報図書館課長）の両名から『大学図書館と地域貢献事業 - 三重大学附属図書館の活動から - 』と題して、特別講演がありました。



2. 協議会議事

1) 報告事項として、次の 3 件が報告されました。

「県内公共図書館の状況」

「和歌山地域コンソーシアム図書館の利用状況」

「加盟館」相互便覧について」

2) 協議事項として次の 2 件が協議されました。

「和歌山地域図書館協議会の活動及び今後の課題」

「和歌山地域コンソーシアム図書館」



利用者の声

私は、大学院経済学研究科 1 年の松山直樹です。和歌山大学に入学して以来、夏休み等の長期休暇を含め、時間があれば図書館を利用しています。

ところで、学部生の方々は、図書館に対して、どのような印象を抱いているのでしょうか？大部分の人々は、ビデオ・DVD を鑑賞する所、図書を借りる所、空き授業の時間潰しの場と捉えているのではないのでしょうか？これは、平日 18 時以降、学生の数が極端に減少する事からも明らかでしょう。

では、なぜ学生はそのように判断するのかを自らの経験も踏まえて考えますと、一般的に言われている図書館という所は、非常に硬直的なイメージが存在していると考えられます。実際に、学生の抱く図書館への負のイメージとしては、勉強したい分野の本を誰が書いていて、どこにあるのか分からない等が考えられますが、根源的な理由として、大学の授業を受けるだけでは勉強に対するイメージを受験勉強から扶植することは非常に難しく、特に社会科学系であれば、問題設定から 1 つの結論もしくは命題を用いて問題を解決していくという演繹的作業を一人で行われなければならないと考えているからではないでしょうか？

そこで、勉強の方法を工夫し、種々の事象や現象を収集し、その中に自分の考え、もしくは興味ある事柄の集合を作り、それらの中から 1 つの結論や命題を導くという帰納的作業方法を先の演繹的作業に追加してみてもどうでしょう。すると、今まで 1 つの自明な事象の背景には、様々な要因が混在しているのが分かるでしょう。1 つの命題では説明できない事象も見えてくるでしょう。そして様々な事象を明確にし、自らの知識を蓄積していくことによって、新たな結論や命題を直観的に導けることもあるのです。しかし、この新たな発見やそれを見つける為の知識の獲得には、読書が必要です。ただ単にあらゆる分野の本を読んでいては意味がないので、この貴重な学生時代を有意義に過ごすためには、自分の専門分野や得意分野を見つけ、これを少しずつ楽しく追求していくのはどうでしょうか。また、読書には、根気と時間が必要です。

我々の世代は、以前の世代に比べモラルが低下している、節度がない等と揶揄されますが、我々は我々のカラーを形成すれば良く、昔ながらの勉強スタイルを貫く必要はないと私は考えます。自分のリラックスできる空間で、ゆっくりとくつろぎながらかつ楽しみながら勉強するのがいいでしょう。その後勉強が楽しくなり、もっと追求したいという願望から大学院に進み勉強を研究と捉えなくなった場合に、自らのスタイルを考え直してみればよい事と考えます。学部生には様々な選択枝があります。色々な人の話を聞いたり、本を読んだり、自分を大きくする 4 年間にしてほしいです。

最終的に私が言いたかった事をまとめますと、大学の勉強は、受験勉強の延長ではなく自分の好きな分野を見つけ追求していく方法を学ぶ事であり、その為には、様々な知識が必要で、読書をする事が意外にも大切だという事です。もし、自分の読みたい本が図書館の蔵書になれば職員の方々に図書購入希望について尋ねればいいですし、不満があれば職員の方に言えばよいのです。我々は、図書館に対して良いサービスを求める権利を持っています。自分の楽しみを自分で妨げない様に、伸び伸び学生生活を過ごしましょう。

(和歌山大学大学院経済学研究科一年 松山直樹)

河西中学生の体験学習報告

附属図書館では、10月27日の1日間、和歌山市立河西中学校生徒二人の職場体験学習を受け入れました。平成12年から毎年受入れており、今年で6年目となります。仕事などの体験活動や社会へ積極的に関わる体験を通して地域社会での人間関係づくりを学び、そして共に生きる心や感謝の心を育むことを目的として実施しているものです。二人の中学生には、カウンターでの図書の貸出・返却処理をはじめ、図書館の業務を体験していただきました。

河西中学校生徒二人からの体験報告を以下にご紹介いたします。(掲載については、本人及び中学校に許可をいただいております。)

拝啓

和歌山大学図書館職員の皆様

この度は僕達2人を優しく教えてくださってありがとうございました。

この体験の中で一番やりがいがあった作業は、本をもとの所に入れるのがやりがいがありました。

最初大学に来た時大きな建物がたくさんあり、おどろきました。普通の町みたいで大学とは思えませんでした

そして、一番うれしかったことは学生がDVDを返却しに来た時学生に僕達が学生証を渡した時に「ありがとう。」と、言ってくれたことがうれしかったです。

その時、「仕事はいいな」と感じました。そして、何事もしっかりとする事を学びました。

また、中村修二教授の講演会を見せていただきありがとうございました。

それと、本を運ぶ時や本を元にもどす時に色々迷惑をかけてしまったのに指導をしてくださって本当にありがとうございました。この体験活動をバネにしてこれからもがんばっていきます。

敬具

『購入希望図書制度』とは

購入希望図書制度は、学生を対象としたサービスです。利用したいと思った図書が、本学図書館に所蔵されていないとき『購入希望図書』としてリクエストできます。リクエストされた資料は、選定会議の議を経て購入され、リクエストした方が優先的に借りることができます。

<購入できる資料>

本学図書館に所蔵されていない資料
特定の利用者だけではなく、広く利用
してもらうことができる資料
学生の勉学及び教養に資する資料
一点につき千円以上、二万円以下の資
料
視聴覚資料（DVD、VIDEO、C
D-ROM）

<購入できない資料>

雑誌（バックナンバーを含む）
絶版、品切れ等のため新本で入手でき
ないもの
コミック、娯楽作品

<リクエスト方法>

「購入希望図書申込書」に必要事項を記入し、カウンターに提出する。

<記入にあたっての留意点>

リクエストする資料に関する情報源をできるだけ記入してください。
あいまいな情報や、未記入の項目が多いと資料の特定ができません。

<選定結果と購入後の図書について>

選定結果等については、図書館掲示版に掲示するほか、購入希望の申込者にはメール等で連絡し、優先的に貸出をします。



学生の皆さん、どしどし
リクエストしてくださいね。
待ってま～す。
センちゃんより



//編集後記//-----

新年あけましておめでとうございます。

気持ちも新たに、皆様とのコミュニケーションを図っていきたいと思っておりますので、
どんな些細ことでも結構ですので、ご質問、お問合せ、ご感想等を下記アドレスまでお寄せ
いただき、良き交流の場にしていきたいと願っております。

今年も、よろしく願いいたします。(スタッフ一同)

編集・発行：和歌山大学附属図書館

TEL：073-457-7915

FAX：073-457-7919

e-mail：unyo@center.wakayama-u.ac.jp